

全国視能訓練士学校協会  
2025 年度 第 18 回教員研修会報告書

教員研修ワーキンググループ

2026 年 3 月

## 目次

ご挨拶	1
教員研修プログラム	2
研修会資料	3
グループワーク	16
グループ発表スライド	19
研修風景. 集合写真	33
賛助会員協賛機械展示	34
賛助会員協賛企画セミナー	35
教員研修会アンケート結果	37
印象記	43
会長総評	45
参加者一覧	47
全国視能訓練士学校協会 加盟校一覧	48
賛助会員一覧	49
編集後記	50

## ご挨拶

2026年3月吉日

本年度の教員研修は、昨年度に実施した「生成AIの教育的活用方法（初級編）」において、生成AIの基本的な仕組みや教育現場における基礎的な活用方法について理解を深めたことを踏まえ、引き続き名古屋芸術大学岡田 雅樹先生にその内容を発展させる形でご依頼し企画・立案しました。昨年度は導入段階として「生成AIを知り、使い始めること」を主眼としたのに対し、本年度は教育現場への定着と実践を見据え、生成AIを取り巻く最新動向やアップデート情報を共有するとともに、より具体的な教育実践への展開を目的とした研修内容でした。

講義や演習、意見交換や討議を通して、生成AI活用に関する課題や留意点についても共有され、多様な立場からの視点を考える機会となりました。グループ発表では基礎理解を前提とした内容構成により、「活用・応用する段階」へと意識を高めることができました。内容は非常にユニークで実践的な活用法であり、教育実践を具体的に検討するためのたくさんの気づきや医療教育における生成AIの適切な活用を考えるうえで重要な示唆を与えるものでした。

また、賛助会員の器械展示には、株式会社エムイーテクニカ、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社ビジョンケアカンパニー、株式会社ティエムアイ、東海光学株式会社、株式会社トプコンメディカルジャパン、株式会社ニデックの6社からご出展いただき、賛助会員セミナーは「オプティゴ スティックオンプリズム 新素材の膜プリズム」（株式会社ティエムアイ）、「視能訓練士を目指す学生のための コンタクトレンズ基礎知識のご紹介」（ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社ビジョンケアカンパニー）「近視管理を初めてみませんか」（株式会社トプコンメディカルジャパン）「市場トレンドアップデート」（株式会社ニデック）の4社に行っていただきました。

1日目の終わりには懇親会を開催し、世代やキャリアを超えて養成校間の教員で親交を深める場となり、有意義な時間が持てました。今後も研修で得た知識をもとに、医療教育のさらなる発展に貢献してまいりたいと存じます。

最後になりましたが、本研修の企画運営にご尽力いただいた講師の岡田先生、関係者の皆様、会場をお貸しくださいました大阪人間科学大学の関係者の皆様、新井田会長、そして参加者の皆様に教員研修ワーキンググループ一同、心より感謝申し上げます。

### 2025年度教員研修ワーキンググループ

赤石 真紀 （専門学校日本医科学大学校）

太田 陸 （静岡福祉医療専門学校）

川上 真吾 （京都医健専門学校）

鈴木 ほまれ （静岡福祉医療専門学校）

小川 久実 （東京医薬看護専門学校）

横田 敏子 （大阪人間科学大学）

## 2025 年度 第 18 回教員研修プログラム

研修テーマ：「生成 AI の教育的活用アップデート 2025 -教育に活かす最新動向と実践への展開-」

講 師 : 岡田 雅樹 先生 (名古屋芸術大学 教育学部 子ども学科 教授)

場 所 : 大阪人間科学大学 C号館

〒566-0023 大阪府摂津市正雀 1 丁目 3-30

スケジュール

### 【8/20(水)】

12:30~12:50 受付

12:50~13:00 開会挨拶、概略説明

13:00~14:30 講義

14:30~14:45 休憩

14:45~15:30 演習

15:30~16:15 レポート作成

16:15~16:30 休憩

16:30~17:30 GW 教育利用の検討

18:30~20:30 懇親会

高崎流居酒屋 クリエイティブキッチン 道場 西中島店

### 【8/21(木)】

9:00 開場

9:30~10:30 GW 学習内容の検討

10:30~11:30 発表会

11:30~11:50 まとめ

11:50~12:20 機械展示見学

株式会社 エムイーテクニカ

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー

株式会社 テイエムアイ

東海光学株式会社

株式会社 トプコンメディカルジャパン

株式会社 ニデック

12:20~13:10 賛助会員セミナー(軽食あり)

「オプティゴ スティックオンプリズム 新素材の膜プリズム」(株式会社 テイエムアイ)

「視能訓練士を目指す学生のための コンタクトレンズ基礎知識のご紹介」

(ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー)

「近視管理を初めてみませんか」

(株式会社 ニデック)

「市場トレンドアップデート」

(株式会社 トプコンメディカルジャパン)

13:10~13:20 アンケート説明・回答

13:20~13:35 会長講評、閉会・修了証配布



岡田 雅樹 先生

名古屋芸術大学 教育学部  
子ども学科 教授

---

岡田先生ご略歴

平成 8 年 4 月 - 平成 10 年 3 月 北海道教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻  
平成 10 年 4 月 - 平成 13 年 3 月 北海道教育大学環境教育情報センター 客員研究員  
平成 12 年 4 月 - 平成 20 年 9 月 兵庫教育大学大学院連合学校教育実践学研究科  
(博士課程後期)  
平成 15 年 4 月 - 平成 17 年 3 月 香川短期大学経営情報科 講師  
平成 17 年 4 月 - 平成 27 年 3 月 湊川短期大学人間生活学科人間健康専攻 教授  
平成 27 年 4 月 - 令和 6 年 3 月 大阪人間科学大学人間科学部子ども教育学科 教授  
令和 6 年 4 月 - 現在 名古屋芸術大学教育学部子ども学科 教授

## 生成AIの教育的活用 アップデート2025 ～教育に活かす最新動向と実践への展開～

令和7年8月20日～21日

名古屋芸術大学  
岡田 雅樹

## 自己紹介

所属	教育学部子ども学科
専門	教育方法・教育工学
研究	・ 移動中継授業システムの開発 ・ 協調学習のためのe-Learning システム開発 ・ 各種実習支援システム開発 ・ 養護学構築

## 専門分野など

# How people learn?

学びの構築・学習環境  
e-Learningシステム開発...

## 日本の医療が直面する課題

生産年齢人口の急減：

社会の担い手である**生産年齢人口が急速に減少**

医療・介護ニーズの増大：

**高齢者人口はピーク**を迎え、医療や介護を必要とする人の数が**増加**し、そのニーズも**多様化・複雑化**

医療提供体制への懸念：

限られた医療スタッフで増え続ける需要に**対応することが困難**。現在のサービス提供体制の**維持が不可能**

## 課題解決の鍵となるAI技術

医療スタッフの負担軽減：

AIの導入は、喫緊の課題である**医療スタッフ不足へ有効**

業務効率化による専門業務への集中：

AIが事務作業などを代行・支援することで、診断やケアといった、**より専門的な業務に時間を活用**することが可能

医療の質の向上への貢献：

AIによる高度なデータ分析や診断支援は、**医療の質の向上**にも直接的に貢献

## 国内外におけるAI活用の動向

多様な領域でのAI活用：

画像診断支援（CT・MRI画像の解析など）

医薬品開発

診断・治療支援

介護・認知症対策

海外企業の日本市場参入：

医療スタッフの業務をAIで支援するアメリカの企業が、日本での事業開始を計画するなど、海外からの技術導入も活発化



## ChatGPT5 画像生成比較表

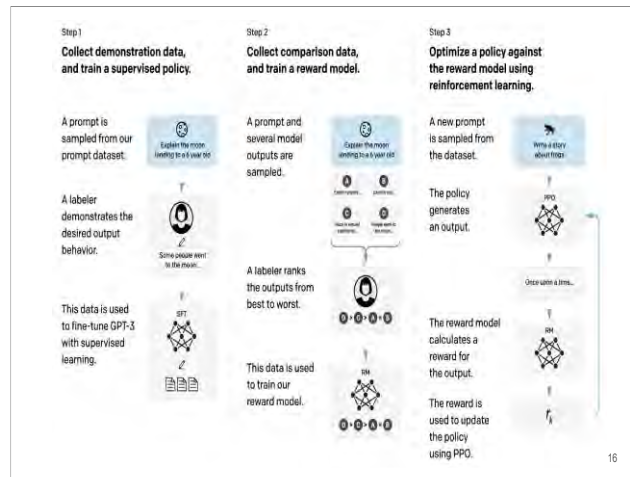
プラン	使用モデル	画像生成制限量	特徴・用途
Free	GPT-4o	約2~3枚/日	軽い試用・少数の画像向け。制限あり。
Plus	GPT-4o (GPT-5も含む)	50枚/3時間 (最大約400枚/日)	創作・業務向けに十分対応。柔軟で効率的。
Pro	GPT-4o/GPT-5	実質的に無制限 (公正利用)	大量・継続的な生成が可能。研究・プロ用途に最適。

13

フェーズ	主な特徴	できることの例
Phase 1 2022年11月~	会話AIの公開初期	- 基本的な質問応答 - 簡単な文章生成 - 知識は2021年まで - コード生成は限定的
Phase 2 2023年~2024年前半	精度・論理性の飛躍	- 学術的応答・長文要約 - 信頼性の高いコード生成 - 画像入力の試験的対応 - プラグインやブラウジング機能
Phase 3 2024年後半	高速化・長文処理・外部連携	- 最大128kトークン処理 - 画像生成・編集 - API連携、業務自動化 - カスタムGPT作成
Phase 4 2025年8月~	汎用知能レベルの統合AI	- テキスト・画像・音声・動画を統合処理 - 長期記憶と会話継続性 - 高度な推論・計画立案 - リアルタイムデータ取得 - 人間並みの柔軟な対話と創造

## 生成AIの仕組み

生成AIは、ある単語や文章の**次**に来る単語や文章を**推測**し、「**統計的にそれらしい応答**」を生成する



16

## 生成AIの仕組み

生成AIは、ある単語や文章の**次**に来る単語や文章を**推測**し、「**統計的にそれらしい応答**」を生成する



**誤り**が含まれる可能性がある

## 生成AIの教育活用事例

活用事例	ポイント	注意点
1 教材要約作成	膨大な資料を要点だけにまとめる	元資料のニュアンスが失われないか確認
2 理解度別の説明文生成	初学者向け・上級者向けに難易度別説明を作成	難易度設定を教員がチェック
3 模範討論の論点生成	賛成・反対両方の立場の主張案をAIで作成	偏りや極端な意見を修正
4 課題フィードバック案作成	学生のレポートをAIで添削・改善提案	学生がそのままコピーしない指導
5 多言語翻訳・比較	英語⇄日本語だけでなく多言語比較で表現の違いを学ぶ	翻訳の正確性を必ず検証

18

- ・ AIと**一問一答**で終わるような使い方は**X**
- ・ AIとの学びの「**プロセス**」を重視すること
- ・ AIによって**個別対応の質**をあげること
- ・ AIによる時短によって**試行錯誤の機会**を増やすこと

## プロセス重視の実現

# 大学での生成AIの活用例

20

大学の教職課程の科目である「教育原理」のテスト対策をしたいです。模擬的なテスト問題を作成してください。

7月26日、「教育原理」の模擬テストを作成しました。

ご質問  
1. 教育原理の基本的な目的や意義について説明してください。  
2. 教育現場で最も重要な要素は何かを説明してください。

回答例  
1. 教育の目的の一つとして、個人の成長を促すこと。  
A. 社会教育  
B. 職業教育  
C. 生涯教育  
D. 子どもの教育  
2. 子どもの発達段階に応じて、適切な指導や支援を行うことが重要です。  
A. 個別指導  
B. 集団指導  
C. 自己学習  
D. 先生指導

ご質問  
1. 教育の目的について説明してください。  
2. 教育現場で最も重要な要素は何かを説明してください。

回答例  
1. 教育の目的は、個人の成長を促すこと、社会の発展に貢献すること、職業教育を通じて社会に貢献すること、生涯教育を通じて自己実現を図ること、子どもの教育を通じて未来を担う人材を育てること。  
2. 子どもの発達段階に応じて、適切な指導や支援を行うことが重要です。個別指導、集団指導、自己学習、先生指導など、状況に応じて適切な指導や支援を行うことが重要です。

1. 記述問題
2. 選択肢問題
3. 短答問題
4. 論述問題

21

あなたは大学の教育学部で「教育原理」を担当している教授です。「教育原理」を履修している学生は、将来、小学校教諭を目指しています。あまり理解度の高い学生に対して、補充的に模擬テストを行うことで、理解度を高めたいと思います。「教育原理」の「教育の目的」部分について、特に教職に就く者を対象としていることを念頭に置いて模擬テストを作成してください。

以下は、「教育の目的」に関する模擬テストの問題例です。

- ①文脈  
背景情報
- ②タスク  
実行させたい具体的な作業
- ③出力形式  
リスト・表・対話文など

22

Gemini  
2.5 Pro

養護教諭を目指す大学生のための「看護学」のドリル問題を20問作成してください。  
出題形式は、選択問題にしてください。

23

Gemini PRO

1. 学校保健活動の法的根拠となる法律はどれか。

A. 学校保健安全法  
B. 医療法  
C. 学校教育法  
D. 児童福祉法

ヒントを見る

次へ

24



25



26

## 大阪市 教員採用試験 2次試験

### 2次 個人面接の内容 (2022年実施試験)

個人面接のなかで場面指導が実施されます。学校現場で起こりうる一場面が示されて、面接官1名を児童生徒（または保護者）にみ立てて、その場で模擬指導（対応）します。場面指導の時間は5分間と比較的長めですので、練習なしに独学で臨むのは極めて難しいでしょう。また、中学校（特別支援）の方は、場面指導のほか、特別支援教育に関する専門知識や、大阪市の特別支援教育の現状と課題に関する質問が行われます。

#### 【場面指導に関する質問】

- ・場面指導で気を付けたこと
- ・場面指導で伝えたかったこと
- ・良かったこと、反省点
- ・想定される最悪の展開は

5分間の練習が重要だが、機会が少ない

27

## ChatGPT 5 によって

「長期記憶と会話継続性」を活かした「学生ごとの学習履歴や苦手分野を把握し、継続的にカスタマイズした指導を提供」することが実現

29

- ・ AIと一問一答で終わるような使い方は×
- ・ AIとの学びの「プロセス」を重視すること
- ・ AIによって個別対応の質をあげること
- ・ AIによる時短によって試行錯誤の機会を増やすこと

プロセス重視の実現

30

あなたは、視能訓練士を養成する大学で勤務する優秀な教授です。

視能訓練士を目指す学生に、病院の臨床実習に行く前に「患者の問診を通して症例を判断する」練習をさせたいと思います。

その場合、あなたが患者役を担当し、視能訓練士を目指す学生の問診に対する受け答えしてください。その受け答えを通して、視能訓練士を目指す学生が症例を判断しますので、それが正しいか間違っているかの判定をお願いします。

また、あなたは患者役ですが、視能訓練士を目指す学生が判断しやすいような、症例判断のヒントになりすぎる発言は、前面に出さないように工夫してください。

つまり、視能訓練士を目指す学生にとって相当の思考をしなないと症例判断ができないような、難易度の高い受け答えをお願いします。

31

# 機能特化型生成AI

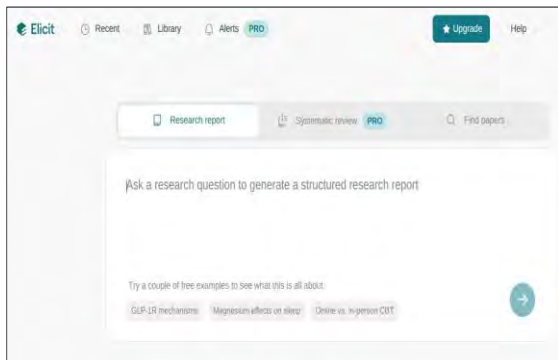
32

## NotebookLM



33

## 論文サーベイAI Elicit



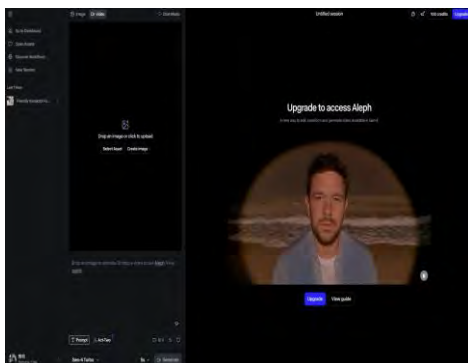
34

## 情報検索AI Perplexity



35

## 動画作成AI Runway



36

探究・校務改革支援補助金 2025

令和6年度補正予算  
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金

公募要領

37

## 補助対象サービス

### ① 探究的学びの高度化

- ・例：総合的な学習（探究）の時間や科目の**探究型授業支援**
- ・課題設定・情報収集・整理分析・まとめ発表などの**プロセス支援**

### ② 教職員の業務効率化・省力化

- ・出欠、授業準備、成績処理、生徒指導、部活動、会議、事務、保護者対応等の**効率化**

38

39

## 生成AIの活用の注意点

40

### ① ファクトチェックが重要

**誤り**が含まれる可能性有り



正しい情報なのかどうかについて  
自身で確認

## AIの回答を批判的に修正する力

- 対象分野に関する一定の知識
- 対象分野に関する自らの問題意識
- 真偽を判断する能力

**批判的思考**が身につくことにもなる

42

### ② 著作権について

生成系AIが情報を収集する過程において、著作権を侵害している**可能性がある**（あやしい）

可能性...あやしい理由...  
AIが生成時に「**参照した情報**」が**不明**なので、判断できない

## 実際に問題になるのか？

○ChatGPTやGoogle Geminiは、元の情報のままの出力はしない

○大学での学びに限定することで、クリアすることができる

## 改正著作権法 第35条

改正著作権法第35条は、「学校その他の教育機関」で「教育を担任する者」と「授業を受ける者」に対して、「授業の過程」で著作物を無許諾・無償で複製すること、**無許諾・無償又は補償金で公衆送信（「授業目的公衆送信」）**すること、無許諾・無償で公に伝達することを認めています。ただし、著作権者の利益を不当に害することとなる場合は、この限りではありません。

45

### 制度の意義① 著作物等の教育利用におけるクリエイション・エコシステム

- 非営利の教育活動であっても、コンテンツのコピーや送信をされると書籍や論文などの売上げにも影響。
- 作家や作曲家などの**クリエイターは、創作時に汗をかき、創作物の対価により次の創作を行う。**適切な対価還元により**創作が活性化され、質の高いコンテンツが生み出される。**
- これを教育現場で教材等に活用することで、**教育の質の向上が図られるという好循環**につながる。



※ 補償金額については、法改正の際の附帯決議において「**妥当な水準**」に設定することとされている。  
※ 文化庁が定める認可基準においては、営利事業等とは異なる特任への配慮や、教育機関の種別等に応じた著作物利用の現状とニーズの見直しなどに照らし、額の水準を判断することとしている。

46

### 制度の意義② 教育向けのコンテンツのサブスクリプションサービス

- あらゆる種類の著作物利用についてワンストップの指定管理団体を通じ権利の一括処理が可能に。
- 無断利用を止められる「許諾権」を制限することにより、遠隔教育等での著作物等の利用を促進し、教育などの未来への投資に生かす。
- 一方、作家や作曲家などクリエイターへの対価還元により次なる創作を促す。

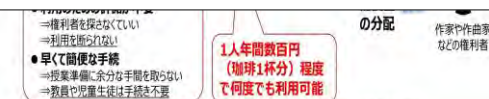


（補償金額については、指定管理団体が教育機関の設置者代表からの意見聴取を経て申請し、文化庁長官が文化審議会に諮問の上で認可。）  
※1：著作権法第35条第1項・第2項。 ※2：著作権法第104条の12。

47

## 補償金が必要な場合

対面授業で使用する資料として印刷・配布する場合、対面授業で使用した資料や講義映像を遠隔合同授業など（同時中継）で他の会場に送信する場合**以外**の公衆送信**全て**



（補償金額については、指定管理団体が教育機関の設置者代表からの意見聴取を経て申請し、文化庁長官が文化審議会に諮問の上で認可。）  
※1：著作権法第35条第1項・第2項。 ※2：著作権法第104条の12。

48

## EUのAI規制法案

- ① トレーニングデータ 概要公開  
義務化の枠組みあり。2025年8月以降の運用が鍵
- ② 著作権侵害防止措置  
ポリシーと技術的措置の要求あり。具体対応はこれから
- ③ 虚偽・有害表現の抑制  
法的義務化は現時点では未確認

### ③情報漏洩について

AIへの質問(プロンプト)への入力  
注意事項

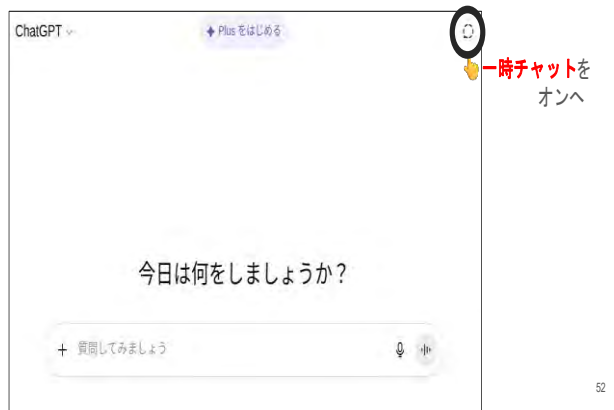
未発表の論文、研究成果、入試に関する情報、機密情報、個人情報等は入力しないこと

### 入力をAIに学習させない設定①



PCブラウザ版ChatGPT

### 入力をAIに学習させない設定②



52

### 入力をAIに学習させない設定②



53

### 教員による教育利用時のポイント

#### 1. 授業設計・評価

- 成果物だけでなく、学習プロセスを評価する課題を設定
- AIを使う前提で課題やプロジェクトを設計
- AI活用で得た情報の出典確認や真偽検証を学習に組み込む

#### 2. 指導・教材活用

- 作文やレポートで、段階的質問型プロンプトを使って学生の思考の促進
- 指導案作成時に条件付きでのAI提案を活用
- 外国語指導でCEFR等の評価基準に基づくAIフィードバック

54

#### 3. 学習者支援

- AIを個別指導ツールとして活用（苦手分野に合わせた練習問題や解説）
- 学生のアイデア発想支援（例：レポートや研究テーマのブレスト）
- 自動添削や翻訳ツールで学習の反復機会の増加

#### 4. 教員の業務効率化

- 事務作業（通知文、配布資料作成）をAIで下書き
- 授業用スライドや視覚教材をAI画像生成で作成・補助
- 授業記録・学生の学習ログをAI集計して振り返りに活用

#### 5. 注意・安全管理

- AI出力は必ず複数ソースで検証
- 誤情報やバイアスを題材に批判的思考トレーニングを実施
- AI利用ルールを学級・学校単位で共有し、事例をもとに更新

55

## 学生の活用に向けて

- ① AIの仕組み、利点、リスクの理解
- ② AIとの対話スキル、ファクトチェックの方法の理解
- ③ 問題発見、課題設定、自己の考えを形成する場面、異なる考えを整理・比較・深める場面での利用

56

## 確認すべき資料 (webからダウンロード可)



## ChatGPT5の基本操作

58

## プロンプトの入力

- ① 文脈  
背景情報
- ② タスク  
実行させたい具体的な作業
- ③ 出力形式  
リスト・表・対話文など



59

## ChatGPT5の機能選択



60

## あらゆる学びをサポートモードについて

項目	通常モード	学習モード（“あらゆる学びをサポート”）
応答スタイル	いきなり答えを提示	背景や目的を聞き、段階的に導く
対話の構成	一問一答が中心	言葉を引き出すための質問 - 答え - 確認問題の構成
理解促進の仕掛け	少ない	ヒントや確認クイズで理解を定着
利用可能プラン	全プランで利用可能	全プラン対応、間もなくEduも対応予定
利用開始方法	そのまま質問	UIからモード切替が必要
設計コンセプト	情報提供中心	学びのプロセスに寄り添う思考パートナー

61

## Canvasモードについて



62

## エージェントモードについて

項目	通常モード	エージェントモード
動き方	ユーザーの入力に対して単発の応答	ゴール達成まで複数ステップで継続的に行動
主体性	受け身（受動的）	能動的（自律的に判断）
作業範囲	その場の会話内のみ	外部ツール・Web検索・API連携なども駆使
計画性	なし（毎回リセット）	タスク全体を分解し、順番に処理
継続性	基本は会話終了で終了	条件が満たされるまで動作を続けることも可能

63

## 演習課題

- 1 自分を表現する画像の生成  
簡単なプロフィールとスタイルを指示して画像を生成する。

### ★プロフィールおよびスタイル指示例

ざっくりとした職業や分野、年代、趣味、好きなもの、ペット、性格、こだわり、など何でもok。

アイコン風、アニメ風、昭和風、油絵風等、作風指定も可能。

64

## 2 場面に沿った成果物の評価・改善

- ①各自で場面設定を行いAIに指示を出す。
- ②生成されたものを評価し、記録する(良い点、良くない点、疑問、注意など)。
- ③満足できるレベルまで改善を繰り返す。

### ★場面設定の例

- ・AIに求める役割（学生役、教員役、患者役など希望があれば）
- ・扱う内容（実習や授業、学生レポート、オープンキャンパス、その他）
- ・成果物（画像、ポスター、計画、クイズ、外国語、会話形式、その他）

65

## レポート作成

- 1 生成AIのメリットと注意すべき点について、自分の言葉で説明してください。
- 2 生成AIを活用して、自身の教育場面での活用について、以下の2つのポイントに分けてアイデアを練って記述してみてください。
  - ①学生が生成AIを活用する場面
  - ②教員が生成AIを活用する場面

66

## プレゼンテーションの準備

- 1 生成AIの活用アイデアを決定
  - ①学生が生成AIを活用する場面
  - ②教員が生成AIを活用する場面
- 2 AIを活用して内容の質を向上
- 3 発表5分、質問1分

67

# プレゼンテーション後のまとめ

68

教員の立ち位置が変わった

AIが学生に24時間寄り添い、個別の支援をする

一人ひとりのわかる・できるの入口がちがう

それぞれのレベルに合わせて、AIに説明させる  
たとえ話をさせる  
「理解が難しいから、鬼滅の刃の世界に置き換えて」

最終的には、学生自らのアウトプットが前提

「インプット」と「アウトプット」のいつたりきたりが大切 ←プロセス

そのために使う知識をどう手にいれ、どう構成するのか、AIが支援

良いアウトプットのための方法をAIに相談する

授業中のフィードバックや、追加の問題をAIにお願いする

人は、失敗して学ぶ。恐れずに、何度も実際にやってみるとのこと。

AIによって、学生は試行錯誤（トライアンドエラー）を高速にできるようになる  
教員を待たずとも、AIが個別にアドバイスしてくれる

知識を教えるだけの教員よりもAIのほうが良いということになる

教員は、**教えない授業**をやる必要がある

それが、アクティブラーニング（探求・研究を含む）

アクティブラーニングこそ、AIによって質の向上が期待できる

言語化（アウトプット）を通して、学生の思考を深めることになる

①型や視点を提供 ←AI

②考えさせる

③言語化（アウトプット）

①～③の繰り返し（試行錯誤）

AIや他の学習者とのやり取りを通して学んでいく

最後のアウトプット（成果物）まで  
AIにまかせたくない！

自分の学びは自分の言葉で表現したい！

教員は...知識の伝達ではなく、  
AIの支援によって効率を上げて  
学びの質を高めること

## グループワーク

1 班	大阪医療福祉専門学校	森 優佑
	仙台医健・スポーツ専門学校	遠藤 舞
	京都医健専門学校	川上 真吾
	大阪人間科学大学	中山 奈々美



2 班	国際医療福祉大学	今中 楓菜
	大阪人間科学大学	榎田 浩三
	福岡国際医療福祉大学	佐々木 信
	東京医薬看護専門学校	小川 久実



3 班	国際医療福祉大学	漆原 美希
	日本医歯薬専門学校	芝田 理恵
	東北文化学園専門学校	二本柳 淳子
	新潟薬科大学附属医療技術専門学校	入澤 真美



4 班	札幌看護医療専門学校	間野 和幸
	神戸総合医療専門学校	山本 雅美
	静岡福祉医療専門学校	太田 陸
	国際医療福祉大学	鈴木 賢治



5 班	国際医療福祉大学	熊谷 嘉人
	名古屋医専	加藤 権治
	愛知淑徳大学	望月 浩志
	専門学校日本医科学大学校	赤石 真紀



6 班	国際医療福祉大学	内川 義和
	愛知淑徳大学	田邊 宗子
	東北文化学園大学	石川 奈津美



7 班	大阪人間科学大学	横田 敏子
	川崎医療福祉大学	藤原 篤之
	大阪医療福祉専門学校	齋藤 真之介
	福岡国際医療福祉大学	松藤 佳名子



8 班	国際医療福祉大学	高德 由依
	大阪人間科学大学	松岡 恵美子
	静岡福祉医療専門学校	鈴木 ほまれ
	新潟薬科大学附属医療技術専門学校	小野 由希子



9 班	神戸総合医療専門学校	荒木 渚
	吉田学園医療歯科専門学校	佐藤 幸恵
	大阪人間科学大学	宮本 安住己



## グループ発表スライド

### 生成AIが拓く、新しい視能訓練士教育

教員研修



グループ1  
森 優佑 大阪医療福祉専門学校  
遠藤 舞 仙台医療・スポーツ専門学校  
川上 真吾 京都医療専門学校  
中山奈々美 大阪人間科学大学

今回のプレゼンでは、  
生成AIが、視能訓練士教育のGWを  
どのように変えるのか、  
そのメリットと可能性をお伝えします！！

### GW事前準備

1. グループ分けをしてもらう。  
→学生相性を考えてグループを分けてもらう。
2. スケジュールの管理(タイムキーパー)

### GW時の活用

1. GWに参加できる模擬学生を作り、クラスの活性化をはかる。  
→学生の性格に合わせた模擬学生も作成可能。
2. ロールプレイで性格の違う患者を作成し、問診練習ができる。  
→同じ疾患でも対応を変える練習ができる。

### GW時の活用

3. フィードバックに活用  
→患者役・教員役としてどう感じたかなど

### GWの例

1. 症例検討
2. レポート作成
3. ロールプレイなど実技演習

### 症例検討

1. 臨地実習などでの症例をAIを交えて検討する。  
→AIの賢さのレベルの設定は必要。
2. 症例に関連する文献の検索
3. 議事録の作成



### レポート作成

1. レポート構成の立案
2. レポートを改善し質向上

## ロールプレイなど実技演習

### 1. 模擬患者を設定しての演習

→患者の立場からのフィードバックを行う。

### 2. 検査手順の確認と練習

→「次に何をすべきか」をAIが質問してくれる。

### 3. 動画・音声解析

→手順のチェック・指示の明確さ・声のトーンと速度



患者様：

最近、テレビの字幕がぼやけて見えるようになってきました...

学生：

それは気になりますね。ぼやけるのは両目ともでしょうかそれとも片方だけで

ですか？

患者様：

両目ですね。特に右目の方が見えづらい気がします。

学生：

右目の方がですね。見えづらさはいつ頃から感じ始めましたか？

患者様：

1ヶ月くらい前からです。

学生：

かしまりました。眼鏡やコンタクトは現在お使いですか？

## 今後生成AIでできそうなこと

### 1. リアルタイムでの生成AIのGW参加

→音声で違和感なくGWに参加できる？  
アバター作成で表情も表現できる。



## 生成AIをGWで使用する上での注意点

### 1. AIへの過度な依存(学生・教員)

### 2. 技術的な面では教員の存在が不可欠



## その他GWにおける生成AIの活用

### 1. 記録の作成

リアルタイムでの記録・要約・分析

### 2. ファシリテータ

進行役として議論を活性化、発言の公平性

## まとめ: AIと創る、視能訓練士の未来

AIの導入は、学生の成長を加速させ、  
教員の教育の質を高めるための

“強力なパートナー”となる



## 第18回教員研修会 生成AIの教育的活用について

2班

福岡国際医療福祉大学 佐々木 信  
国際医療福祉大学 今中 楓菜  
大阪人間科学大学 梶田 浩三  
東京医薬看護専門学校 小川 久実

生成AIは、  
目的を果たすためのプロセスであって最終地点ではない



「学生が文章を書けるようになるための支援」

として使用する

→講義の内容を要約できない…  
→実習の記録(考察)が書けない…

### 活用方法(学生)

- STEP1 講義資料をAIに読み込ませ、要約をさせる  
→ 学生に要約を学ばせる
- STEP2 講義のキーワード等を用いて、AIを使用しながら、学生に要約を作成させる  
→ 要約する練習をさせる
- STEP3 自分の力で要約を作成し、AIに評価させる  
→ 作成した要約の良い部分・改善点を学ぶ

**最終目的** 自分の力だけで要約を完成させる

### 活用方法(教員)

学生に要約を作成させると、その評価が大変…  
→ 講義資料や模範解答をAIに読み込ませて、学生の要約を評価させる

- ✓ 評価にかかる時間を短縮できる
- ✓ 学生の到達度を可視化できる
- ✓ 講義の内容や説明方法の改善につながる



### まとめ

生成AIに文章を作成させて終了ではなく、  
学生が自分で文章を書けるようになるための

**プロセス**として使用する

## AIとともに歩む就職支援

～生成AIによる履歴書添削と画像生成～

グループ3

東北文化学園専門学校 二本柳 淳子  
日本歯薬専門学校 芝田 理恵  
新潟薬科大学附属医療技術専門学校 入澤 真美  
国際医療福祉大学 漆原 美希



### 就職支援の現状と課題

#### 【学生の悩み】

- ・自分の長所が分からない
- ・志望動機がうまく書けない
- ・そもそも書き方が分からない

#### 【教員の支援課題】

- ・添削の時間的制約
- ・個別対応の限界

### 生成AIの可能性

#### 【学生の活用】

- ・AIとの対話による自己理解の促進
- ・自己分析と言語化
- ・文章力・読解力の向上を図る

#### 【教員の活用】

- ・キャリア教育の授業への利用
- ・ビジュアル例の画像生成

### 実践例①

#### 【学生の活用】AIとの対話→学生の回答→たたき台の作成

学生の問いかけ (入力)

「私の長所がわかりません。何を書けばいいか悩んでいます。」

AIの応答 (対話の一部)

- ・「これまで友人や先生に褒められたことはありますか？」
- ・「ひとりでなにが得意なことを教えてください。」
- ・「アルバイトや課外活動で、周囲の人に賞賛された経験はありますか？」

学生の回答 (例)

「得意では、仕事の前向きなところが多かったです。みんなが安心して任せられるように気をつけています。」

AIによる履歴書本文の提案 (添削後の一文)

「人の気持ちに寄り添い、安心して任せられる姿勢が素晴らしいです。部活動では、後輩の悩みと向き合い、信頼関係を築くことに努めました。」

解説ポイント

- ・ ① 具体的な「長所」を具体的な行動に関連して提示
- ・ ② 学生の語り口を尊重しながら、構成と語彙を整える
- ・ ③ 自己理解のプロセスそのものが、履歴書の価値になる

## 実践例②【教員の活用】言葉で通じにくい常識的なことを画像で伝える

①就活を行う医療系学生へ向けて、好ましい証明写真の例を提示したいので、いい例と悪い例を比較した画像を作成してください。いい例の女性は清潔感のあるまとめ髪で前髪あり、ナチュラルメイクで、ブラウスはスタンダードシャツで第一ボタンまで閉めてください。悪い例では前髪が目にかかり派手な化粧の姿。

②いい例も悪い例もジャケットを着せてください。いい例はブラウスを第一ボタンまで閉めてください。

③いい例を、スマホで撮った場合、インスタント証明写真機で撮った場合、写真館で撮った場合で比較した画像を作成してください。



## AIとともに育てる“伝える力”

AIは補助者、学生自身の言葉と意思が中心

教員が支えるのは「表現のプロセス」

今後の展望：教育とAIの協働による支援の深化

全国視能訓練士学校協会 第18回 教員研修会

## グループワーク 生成AIの活用アイデアの決定 生成AIを用いた客観的評価の提案

グループ4

神戸総合医療専門学校 山本 雅美  
国際医療福祉大学 鈴木 賢治  
札幌看護医療専門学校 間野 和幸  
静岡福祉医療専門学校 太田 陸

### 生成AIの利活用に向けての提案

step1. 現在の活用状況

step2. 短期的な目標として活用できる提案

step3. 長期的な目標として活用できる提案

### step1. 現在の活用状況

学生が生成AIを活用する場面 前提 生成AIに対するリテラシー教育が必須

✓ 情報収集のツール

✓ 文書(履歴書、お礼状など)の添削ツール

教員が生成AIを活用する場面

✓ 医療面談、模擬面接などの場面でテキストベースでの活用 → 詳細を検討

✓ 文書(履歴書、お礼状など)の添削ツール

✓ 試験問題の作成、要点整理(NotebookLMを活用)

### step2. 短期的な目標としての提案

入力をテキストから音声へ

✓ まずは就職の模擬面接など一般的な内容からスタート

✓ つぎに医療面接、検査説明の順に専門的な内容へ

✓ 検査説明については、教員が評価観点を作成する

質問・回答の内容に加えて、声の大きさ、スピード、トーン、回答時間など

テキストベースでは評価が難しい内容を評価可能

### step3. 長期的な目標としての提案

入力を音声から動画へ

✓ step2.と同様に一般的な内容からスタート

✓ 検査については模範的な動画素材と評価観点を作成する

✓ 現状の生成AIの技術で可能かどうかは不明

✓ 生成AIの技術革新のスピードから考えると近い将来には可能に...

さまざまな活用方法が考えられる

→ OSCEへの利用、学生自身のフィードバックへの活用 etc.

### PDCAサイクルにのせた教育ツールの確立

例：実技の教育ツール

Plan 検査手順についてテキストと視覚素材を用いた教材の提供

Do 学生が検査を実施する様子を撮影

Check 教員が用意した評価観点をともに学生の検査を客観的に評価

Action 評価を踏まえ、改善点の指摘と学生にカスタマイズした教材の提供

生成AIを利用することで客観的な評価(教員の主観が介入しない)が可能

学生の心理的な負担の軽減にもつながり、自己学習のよいツールとなり得る

## 生成AIの教育的活用アップデート2025 ～教育に活かす最新動向と実践への展開～

5 班  
望月浩志 (愛知淑徳大学)  
熊谷嘉人 (国際医療福祉大学)  
赤石真紀 (専門学校日本医学大学校)  
加藤雅治 (名古屋医専)

2025年 8月21日 木曜日

## AIを活かして内容の質を向上

AIの使いはじめは、活用内容を吟味していたが、使用するにしかがって、内容の質を向上できることがわかった。  
今回の発表はその一部を紹介する。

## 学生が生成AIを活用する場面

- 自己PR文の作成
- 就職試験（小論文）の練習

### 学生の生成AIを活用する場面

ざっくりとした指示

～履歴書の自己PR文～

履歴書に使う自己PRを作成してください。

#### 履歴書用自己PR作成のポイント

履歴書に記載する自己PRです。職種や応募先企業によってアピールするポイントは変わってきますが、ここでは汎用的に使える自己PRを作成する上でのポイントをお伝えします。

まず、自己PRを作成する際に重要なのは、以下の3つの要素を入れることです。

1. **結論（強み）**：あなたの最もアピールしたい強みは何ですか？簡潔に一言で表現しましょう。
2. **根拠（具体的なエピソード）**：その強みをどのように発揮しましたか？具体的な状況、あなたの行動、そしてその結果を、できるだけ数値なども交えて具体的に記述します。
3. **展望（入社後の貢献）**：その強みを活かして、入社後にどのように会社に貢献できるかを述べます。

**例：主体性と課題解決能力をアピールする場合**

**【結論】**  
私の強みは、多岐の課題を自ら身つけ出し、積極的に解決策を考へる課題解決能力です。  
**具体的なアドバイス**を頂ける。

私の強み、課題解決能力です。多岐の課題を自ら身つけ出し、積極的に解決策を考へる課題解決能力です。

ご質問の件、そしてお返事が大学関係とのこと、承知いたしました。履歴書用としてお返事を致します。大学関係という場合は、履歴書用としてお返事を致します。ご質問の件、そしてお返事が大学関係とのこと、承知いたしました。履歴書用としてお返事を致します。ご質問の件、そしてお返事が大学関係とのこと、承知いたしました。履歴書用としてお返事を致します。

履歴書用自己PR文

**【結論】**  
私の強みは、多岐の課題を自ら身つけ出し、積極的に解決策を考へる課題解決能力です。

**【根拠】**  
私の強みは、多岐の課題を自ら身つけ出し、積極的に解決策を考へる課題解決能力です。

**【展望】**  
私の強みは、多岐の課題を自ら身つけ出し、積極的に解決策を考へる課題解決能力です。

**【具体的なアドバイス】**  
私の強みは、多岐の課題を自ら身つけ出し、積極的に解決策を考へる課題解決能力です。

先ほどの自己PRを400字以内に収めてください

承知いたしました。先ほどの自己PRを400字以内に収めます。履歴書の時に収まるように、要点を絞って簡潔にまとめました。

履歴書用自己PR (400字以内)

私の強みは、多岐の課題を自ら身つけ出し、積極的に解決策を考へる課題解決能力です。

現在勤務している病院では、多岐にわたる患者様を担当し、丁寧な説明と信頼を心がける姿勢を大切にしています。特に、不安を抱える患者様がいらした際、他職種と密に連携して業務を行い、精神面を寄り添ったケアを提供した結果、「あなたのおかげで安心できた」とのお言葉をいただきました。この経験から、医師の方々として最も重要なのは、患者様だけでなく、共に働く仲間の信頼関係と再認識いたしました。

寛容のような寛容な専門性とチームワークが求められる環境において、この経験で培った能力を活かせると思っております。入職後は、より多くの症例から学びを深め、チームの一員として積極的に貢献することで、地域医療の発展に尽力したいと考えております。

実際に学生が作成した自己PR文

**【志望動機 例文：視能訓練士】**  
私が視能訓練士を志望した理由は、「人達・物達・事」の理念のもと、地域に根ざした医療を提供し続けている点に強く惹かれたからです。視能訓練士として、患者様と丁寧に向き合い、検査や訓練を通して見え方の改善に貢献できるこの仕事に、やりがいと責任を感じています。特に小児の視能訓練や、障がい者など早期発見が必要な患者様への対応に力を入れられている貴院では、自身の専門性をさらに高めながら、多くの患者様の生活の質の向上に貢献できると感じています。今後は、チーム医療の一員として、他職種と連携しながら、より良い検査・訓練環境を提供していきたいと考えています。

この志望動機は、新卒でも既卒でも使えるベースになっています ↓

## 学生が生成AIを活用する場面

- 就職試験（小論文）の練習

学生がAIを使用すると模範解答を求めてしまうため、対策にならないよって対策ができる方法を指導する

## 学生が生成AIを活用する場面

- 就職試験（小論文）の練習①

過去の出題テーマを分析してもらう

## 学生が生成AIを活用する場面

就職小論文について、いまから挙げるテーマから分析をお願いします。「視能訓練士を目指すきっかけを述べてください」「どのような視能訓練士になりたいですか」「5年後の自分はどのようになっていますか」

### ・全体を通じたポイント

一貫性：きっかけ→なりたいたい姿→5年後の自分がなっていると高評価

独自性：自分の体験や思考を交えたと差別化できる

具体性：抽象語（やりがい・寄り添う・努力する）だけでなく、行動例や場面を描くと説得力が増す

## 学生が生成AIを活用する場面

### ・就職試験（小論文）の練習②

#### AIの提案を参考にする

・ご希望なら、これをもとに「模範解答の骨格」や「書き方の構成（序論・本論・結論）」まで整理できますが、どうしますか？

・あなた：

・模範解答の骨格と書き方の構成を教えてくださいませんか

## 学生が生成AIを活用する場面

### ・就職試験（小論文）の練習②

#### ・書き方の基本構成

・どのテーマでも共通して使える「三段構成」です。

#### 1.序論（導入）

テーマに対する答えを端的に述べる（結論先行）

#### 2.本論（具体的理由・経緯）

- ・きっかけや体験エピソード
- ・自分が大切にしている考え方
- ・将来像につながる内容

#### 3.結論（まとめ）

本論を踏まえて、改めて自分の意思や目標を示す

→「結論→理由→再結論」という流れにすると読みやすく、採点者に印象が残ります。

## 学生が生成AIを活用する場面

### ・就職試験（小論文）の練習②

#### ・まとめ：文章の流れイメージ

- 1.最初に結論を書く（何を答えるか明確に）
- 2.エピソード・理由を加える（具体例で説得力）
- 3.最後に再度まとめる（意志を強調）

## 学生が生成AIを活用する場面

### ・就職試験（小論文）の練習③

#### 出題されるテーマを予測

#### ・出題予測（頻出順）

1. 志望動機系
2. 将来像系
3. 職業理解系
4. 社会人基礎力系（応用型）

## 学生が生成AIを活用する場面

### ・就職試験（小論文）の練習④

#### 具体的なテーマを挙げてもらう

- ・数ある医療職の中で、なぜ視能訓練士を選んだのか説明しなさい。
- ・患者さんに信頼されるために必要なことは何だと思いますか。
- ・学生生活で学んだことを、どのように将来に活かしますか。
- ・医療従事者にとって必要な姿勢は何だと思いますか。
- ・協調性やコミュニケーション能力が医療現場でなぜ大切だと思いますか。

## 学生が生成AIを活用する場面

### ・就職試験（小論文）の練習④

#### 具体的なテーマを挙げてもらう

#### ・ポイント

「きっかけ」「将来像」「資質・適性」の3本柱は鉄板  
プラスで「チーム医療」「社会人基礎力」に関するテーマが出やすい  
400～600字で問われることが多い

## 学生が生成AIを活用する場面

### ・就職試験（小論文）の練習⑤

#### 小論文を実際に自分で執筆し、添削してもらう

## 教員が生成AIを活用する場面

- ・過去の国家試験問題から出題傾向を分析
- ・今後の授業内容に展開

## 質問

- ・添付の5年間の視能訓練士国家試験から、解答する上で学習しておくべき事項を単語・用語で挙げてください
- ・毎年頻出されている重要事項を挙げてください
- ・過去5年分の国家試験問題のPDFファイルを添付



## 回答1

第51回～第55回(午前・午後)の過去5年分を整理し、毎年のように繰り返し出題されている頻出事項(最重要)を抽出しました。

- ・視能訓練士国家試験 — 毎年頻出される重要事項
- ・1. 基礎医学・解剖生理
- ・房水の産生と流出経路(毛様体 → 後房 → 瞳孔 → 前房 → 線維柱帯 → Schlemm管 → 上強膜静脈)
- ・視神経線維の交叉(耳側網膜は同側、鼻側網膜は対側へ → 視索の構成)
- ・脳神経と眼球運動(動眼・滑車・外転神経の支配筋、障害時の眼位)

## 回答2

- ↓  
毎年繰り返し問われるテーマは次の6本柱です:
- ・房水循環と緑内障
  - ・視神経・視路の解剖と病態(視野異常含む)
  - ・斜視・弱視の診断と訓練
  - ・甲状腺眼症(牽引試験・眼球突出)
  - ・代表的な眼科検査(視野、斜視角、涙液検査)
  - ・法規(学校保健安全法・視能訓練士法・障害者総合支援法)

## 活用例

- ・過去数年分を解析し、頻出項目の抽出、出題傾向の解析
- ・学習教材への反映  
頻出項目に重点をおいた効率的な国家試験対策学習
- ・模擬試験のAI解析結果を教員がチェックして学生個々の苦手を意識した模擬問題の作成や知識の補填

最重要事項についてそれぞれ2問ずつ国家試験の出題形式に準じた模擬問題を作成してください

### 1. 房水循環と緑内障

#### 問題1

房水の流出経路で正しいのはどれか。  
毛様体 → 前房 → 後房 → 線維柱帯  
毛様体 → 後房 → 瞳孔 → 前房 → Schlemm管  
毛様体 → 瞳孔 → 前房 → 硝子体  
毛様体 → 前房 → 網膜中心静脈  
毛様体 → 前房 → 結膜下腔

解答: 2

## ファクトチェックが必要

AIの回答が正しいか、正確な情報なのかの確認は必要である

ご清聴ありがとうございます

5班 望月浩志 熊谷嘉人  
赤石真紀 加藤権治  
2025年8月21日 木曜日

## 生成AIの教育現場での活用

①学生が生成AIを活用する場面

### 臨地実習での 対人関係支援を中心に

②教員が生成AIを活用する場面

### レポート課題と評価方法の提案

2025.8.20-21  
第18回JATIO教育研修会  
6班

- 田邊 奈子 (愛知淑徳大学)
- 内川 誠和 (国際医療福祉大学)
- 石川 重洋 (東北文化学園大学)

①学生が生成AIを活用する場面

## 臨地実習での対人関係支援を中心に

1. AI利用の流れ  
追加) 教員の利用
2. 教育的効果

## 背景

臨地実習で指導者との関係に悩む学生が多い

例) 「質問したいが、どのタイミングで声をかけていいかわからない」  
「関係が悪化しそうで不安」

☞ 対人関係の悩みが、学びの妨げになることもある

**対人関係の悩みをAIに相談**

## 1. AI利用の流れ

1. 対人関係の悩みをAIに相談する
2. 行動の選択肢を提案してもらう  
例) 声をかける前に一言「今よろしいですか」と確認する
3. 提案を実践 → 振り返りをAIに相談 → 改善

☞ 学生は「相談→提案→実践→振り返り」の学習サイクルを体験できる

## 追加：教員も生成AIを活用することが可能

・発達特性がある学生や打たれ弱い学生の指導に活用

1. 学生の特徴をAIに入力する
2. AIに**複数の指導アプローチを生成**してもらう

例) 叱責ではなく具体的行動を提示する言い方

☞ 専門知識がなくても支援方針を検討できる補助ツール

## 2. 教育的効果

- ✓ 学生：困難な場面での**行動変容を学ぶ**
- ✓ 教員：**多様な指導法のヒントを得る**
- ※ 双方にとって、心理的安全性を高めることが可能

### <注意点>

AIは万能ではない

**最終的な判断は専門家が行うことが重要**

## まとめ

- ✓ 生成AIは「知識を得る」だけでなく、**行動を学び、成長を支えるツール**となりうる
- ✓ 学生・教員の対人関係支援に活用できる新しい形

②教員が生成AIを活用する場面

## レポート課題と評価方法の提案

1. 課題提示の工夫
2. 評価の観点
3. 評価方法
4. 教員側の工夫

## 背景

生成AIの普及により、従来型の「テーマ提示→レポート提出→評価」だけでは教育的意味が希薄化する可能性

学生にとっても、教員にとっても、AIが作成したレポートをそのまま提出・採点するだけでは学びが深まらない

そこで、**AIの利用を前提に、その活用プロセスを教育に取り込む**ことが必要

## 1. 課題提示の工夫

### ・AIの利用を前提化する

生成AIを使ってもよいが、**どのように使ったかを記録**することを課題に含める

例：テーマに関するレポート（〇〇字程度/A4〇ページ以内）に加え、**AIとのやり取りをログとして添付**し、その利用過程を振り返る解説を〇〇字程度記すこと

### ・プロセスを見える化する課題

本文に加え、**AIの出力内容をどのように検証し修正したか**を段階的に示させる

例：AI出力（初稿）→ファクトチェック・修正ポイント→改訂稿（複数回）

### ・リフレクション課題を組み込む

「AI利用により気づいた限界」「自分の判断を必要とした場面」を文章化させる

学生にとって単なる“外注”ではなく“学習資源”として**AIを使う姿勢を養う**

## 2. 評価の観点

成果物の質：論理性、構成力、文献の引用の適切さ、独自性（従来通り）

**AI利用の適切さ**：AIからの出力を鵜呑みにせず、検証・取捨選択できているか

**改善・ブラッシュアップの過程**：校正、言い換え、論点の深まりなど、単なるコピーではなく編集しているか

**自己省察（リフレクション）**：AI利用で得た学びや課題意識を言語化できているか

## 3. 評価方法

ルーブリック評価：求められる水準が明確となり、目標設定が容易になる

ピアレビュー+AIレビュー：学生同士の相互評価、その後のAIによるフィードバックを提示  
多角的な観点での査察を促す

## レポート課題評価ルーブリックの例

	観点	4点（優）	3点（良）	2点（可）	1点（要改善）
① 成果物の論理性・完成度		明確な論点があり、根拠となる文献を適切に用いて一貫した構成で整理されている。誤りはほとんどなく、読みやすい。	論点は明確で概ね一貫している。文献の利用や構成にやや弱さがあるが、全体として理解可能。	論点が不十分または一貫性に欠ける。根拠がほとんど示されていない。内容が断片的で、誤りが多く理解困難。	
② AI出力の検証		AI出力の正確性を十分に確認し、誤情報や意味不明な点を的確に修正している。出典や事実確認が明確。	AI出力を確認し、誤りを一部修正できている。事実確認は十分とはいえないが、全体に影響は少ない。	AI出力をほとんどそのまま使用しており、検証や修正が不十分。誤情報が残っている。	
③ 編集・改善力		AIの文章を大幅に修正・再構築し、自らの表現や構成を加えている。独自性が高い。	AIの文章を部分的に修正し、全体の整合性をとっている。独自性はやや限定的。	AIの文章をほぼそのまま使用しており、修正は限定的。独自の意見や工夫が少ない。集がほとんどない。	
④ リフレクション（省察）		AI利用の強み・弱みや自身の学習プロセスを振り返り、気づきや今後の課題を具体的に示している。	AI利用について振り返りができている。学習や研究の強み・弱みや自分の学びが十分に言語化されている。	振り返りが表面的で、AI利用の強み・弱みや自分の学びが十分に言語化されていない。	

## 4. 教員側の工夫

### 生成AIを評価支援に活用

学生提出のAIログやレポートをAIに読み込ませ、ルーブリック基準に沿った一次評価（コメント付与）を自動で行わせる

教員は最終確認・調整に集中する（できる）

#### ※AIログ提出の義務化

教員にとっては「高学歴が望めるAI活用ではないこと」を確保でき、**評価の妥当性**が高まる  
学生にとっては「生成AIをどう使ったかを客観的に記録する能力」となり、プロセスを記録する習慣が身につく  
さらに、ログを必須にすることで、学生は「どの場面でもAIに頼り、この場面では自分の判断を促したか」を具体的に可視化することで、**リフレクションの傾向**も期待できる。

### ピアレビュー+AIレビュー

多角的な視点を組み入れることで、さらなるブラッシュアップを促し、AI活用の幅を広げる/深化させる

## 4. 教員側の工夫

～提出要件の段階モデルの提案～

### 初期段階（AI活用の導入期）

提出：全ログ+要約シート→成果物

目的：AIの利用プロセスを完全に可視化→学生に「検証・編集・省察」を強制的に意識させる。

教員：AI出力の誤りや学生の**検証プロセス**を丁寧にフィードバック。

### 中期段階（AI活用に慣れてきた時期）

提出：主要なやり取りのログ+要約シート→成果物

目的：すべてを記録させる必要はなく、学習の要所（判断や修正に関わる部分）に焦点を絞らせる。

教員：要約シートを中心に確認し、必要に応じてログをチェック。

### 後期段階（高度活用期）

提出：要約シート→成果物

目的：学生がAIを利用した思考過程を自律的に整理できることを重視。

教員：成果物の完成度+自己省察の質を中心に評価。

### 最終段階（習熟期・卒業論文レベル）

提出：成果物のみ（ただし「AIの利用履歴・方法の自己申告」は必須）

目的：**AIを含む多様なツールを「道具」として自然に統合できるかどうか**を確認。

初期は負担が大きくても、正しい使い方を学ぶ「訓練期間」として重要である。徐々に提出要件を軽減することで学生が自律的に使いこなす方向へ移行できる。教員側も、段階的に「評価対象を成果物中心へ」シフトできる

## まとめ

✓生成AIを禁止するのではなく、**利用プロセス**を教育に組み込み評価することが重要

✓成果物に加え、AI出力の検証・改善・リフレクションの観点についてルーブリックを用いて評価し、**評価のプロセスも見える化する**

✓**ログ提出を必須化**することで教育効果を最大化

✓学習段階に応じた提出要件の**段階的モデル（足場かけscaffolding）**により最終的には**自律的なAI活用**へ導く。



齊藤 真之介（大阪医療福祉専門学校）  
藤原 篤之（川崎医療福祉大学）  
松藤 佳名子（福岡国際医療福祉大学）  
横田 敏子（大阪人間科学大学）  
(7班)

① 学生が生成 AI を活用する場面

模擬患者, 実習指導者を想定した対話型ロールプレイ



小児から高齢者まで, 幅広い年代の患者を想定したシミュレーションを行う  
実習指導者とのコミュニケーション方法を事前にシミュレーションする

模擬患者, 実習指導者を想定した対話型ロールプレイ  
実施するメリットは?

- 繰り返し練習により自信と実践力を強化
- 多様な患者像にふれることで臨床応用力を育成
- 実習前に経験を積むことで現場での緊張を軽減

② 教員が生成 AI を活用する場面

外眼筋の作用

外眼筋	作用
内直筋	内転
外直筋	外転
上直筋	上転、内方回旋、内転
下直筋	下転、外方回旋、内転
上斜筋	下転、内方回旋、外転
下斜筋	上転、外方回旋、外転

水平作用

外眼筋の作用

外眼筋	作用
内直筋	内転
外直筋	外転
上直筋	上転、内方回旋、内転
下直筋	下転、外方回旋、内転
上斜筋	下転、内方回旋、外転
下斜筋	上転、外方回旋、外転

回旋作用

外眼筋の作用

外眼筋	作用
内直筋	内転
外直筋	外転
上直筋	上転、内方回旋、内転
下直筋	下転、外方回旋、内転
上斜筋	下転、内方回旋、外転
下斜筋	上転、外方回旋、外転

貯金ない常勤ないかい?



貯金 ない

直筋 ↓ 内 (転作用) 方、斜筋はその逆の外転作用  
ね

上直筋	上転、内方回旋、内転
下直筋	下転、外方回旋、内転
上斜筋	下転、内方回旋、外転
下斜筋	上転、外方回旋、外転

常勤 ないかい

上筋 ↓ 内回 (内方回旋の略) 方、「下」がつく筋肉はその逆の外方回旋  
ね

上直筋	上転、内方回旋、内転
下直筋	下転、外方回旋、内転
上斜筋	下転、内方回旋、外転
下斜筋	上転、外方回旋、外転



## 第18回教員研修会 8班

大阪人間科学大学 松岡 恵美子  
静岡福祉医療専門学校 鈴木 ほまれ  
新潟薬科大学附属医療技術専門学校 小野 由希子  
国際医療福祉大学 高德 由依

### ●学生による生成AIの活用

- ①検査説明の仕方・手技のチェック
- ②自分に合った学習に変換
- ③問題文の変換
- ④NotebookLMによる記録とポートフォリオ作成



### ①検査説明の仕方・手技のチェック

#### 検査技術の向上と説明力の強化を図る

- ・ AIに検査説明を音声入力 → 客観的なフィードバックを得る
- ・ 患者に合わせた説明方法の提案 → 実践的な対応力を養う
- ・ 苦手分野や説明の不備をAIが指摘 → 改善ポイントが明確に

私は、視能訓練士を目指す学生です。今から、眼科の静的視野検査（ハンフリー視野計）の検査説明の練習相手になってくれますか？あなたは患者役をお願いします。最後に、何も知らない患者役を演じてみて不足する点などをフィードバックしてください。

いいですね！私は患者役を演じますね。

あなたは視能訓練士の学生として、ハンフリー静的視野検査をこれから行う前に患者さんに説明してください。

私は「何も知らない患者さん」として、説明の途中で質問したり、不安そうな反応をしたりしてみます。

最後に「患者役立場から感じた不足点や改善点」をフィードバックします。

準備ができれば、あなたから「検査のご説明」始めてください。

では今から視野検査という検査を始めます。まず視野検査は、目の見える範囲を調べる検査です。正面のオレンジの光を見てもらい、周りで少しでもチラツと光が見えたらボタンを押してください。では、次の検査を始めます。

（患者役）

「スゥ...スゥと、光が見えたら押すんですね。でも、見えたかどうか自信がないときはどうしたらいいですか？」

■（フィードバック）

今の説明はともなサンプルでわかりやすいですが、患者さんが不安に思いやすいポイントがいくつか抜けています。

1. 「見えたかどうか自信がないときの対応」  
→ 「迷ったら押して大丈夫です」と伝えると安心されます。
2. 「検査中の目の動き」  
→ 「視線は常に真ん中の光に向けてください」と補足が必要です。  
(視野検査は視線がずれると正しい結果が出ません)
3. 「検査の時間感覚」  
→ 「片目で数分くらいです」など、時間を伝えると不安が減ります。
4. 「休憩やまばたき」  
→ 「疲れたらまばたきして大丈夫です」押し間違えてもやり直せます」など伝えると安心できます。

### ②自分に合った学習に変換

学習タイプ	AIによる支援例
視覚型	図解・チャート化
聴覚型	音声教材生成
言語型	要約・キーワード抽出

- ・ 講義資料を自分なりに再構成 → 効率的な復習が可能
- ・ 自分の理解度に応じた資料作成支援

### ③問題文の変換

- ・ 文章を変えて出題してもらおう
  - ・ 教科書を読んでもらい、そこから問題作成をしてもらおう
- 語彙が増えて、さまざまな問題に対応できる力を養う

### ④NotebookLMによる記録とポートフォリオ作成

#### 成長の可視化と自己肯定感の向上

- ・ 実習・試験の記録をAIが整理
- ・ 良かった点をAIに褒めてもらう → 自信につながる
- ・ 課題点を明確化 → 次の目標設定がしやすい
- ・ 学年を通じた成長記録 → ポートフォリオとして活用可能

## まとめ

- ・ファクトチェックの重要性
- ・具体的な指示を詳細に入れる

学生の学習効率や意欲を高められる



## 生成AIの教育的活用

- 9班 宮本 安住己 (大阪人間科学大学)  
佐藤 幸恵 (吉田学園医療歯科専門学校)  
荒木 渚 (神戸総合医療専門学校)



## 学生が生成AIを活用する場面

- ・面接練習
- ・コミュニケーション能力の強化
- ・国試対策 (練習問題の作成、苦手分野の反復学習)
- ・お礼状の下書き
- ・文章の校正

あなたは視能訓練士を採用したい眼科クリニックの院長です。就職希望の視能訓練士の学生に対して、採用前の面接を行います。私が学生役になるので、対応してください。

わかりました。では、私は眼科クリニックの院長として面接を進めます。荒木さんは視能訓練士を目指す学生という設定ですね。

では始めます。

[本日はお忙しい中、面接にお越しいただきありがとうございます。まずは簡単に自己紹介をお願いしますか?]

今日はお時間をいただきありがとうございます。〇〇大学から参りました△です。よろしくお願いたします。

「△さん、ありがとうございます。よろしくお願いたします。  
では早速ですが、視能訓練士を目指すと思ったきっかけや、きっかけとなった経験があれば教えてくださいませんか？」

☺ ☹ ☹ ☹ ☹ ☹

厳しい院長という設定に変更していただけますか？

了解です。それでは設定を変えて、少し厳しめの院長として面接を進めます。

「△さん、自己紹介は結構です。ただ、本当にこの仕事に向いているかを確認させてもらいます。  
まず聞きますが、視能訓練士を目指す理由は何ですか？単なる興味や就職に有利だから、では困ります。」

## 教員が生成AIを活用する場面

- ・学生指導のアドバイス
- ・書類、メール作成
- ・教材作成
- ・時間割作成

あなたは、視能訓練士を養成する専門学校で、生徒指導に長けた優秀な教員です。勉強が苦手で、成績不良な生徒との面談を行いたいと思います。生徒はまじめな性格で、勉強を頑張りたい気持ちは強いのに成績が伸び悩みんでいます。私が生徒役となるので、会話形式で相談のってください。

了解しました！  
では私は「視能訓練士養成専門学校の教員役」として面談を進めますね。  
あなたは生徒役で答えてください。

(教員)  
「〇〇さん、今日は時間をとってくれてありがとう。最近の成績のことで少し一緒に考えてみたいと思っています。まずは率直に、どんな気持ちで勉強に取り組んでいるか、聞かせてもらえますか？」

テストで良い点とりたいので頑張って勉強したいのですが、中高生の時にもちゃんと勉強してこなかったんで、そもそも勉強の仕方が分かりません。

(教員)  
「なるほど、勉強したい気持ちはあるのにやり方が分からないから、頑張りが点数に結びつきにくいんですね。とても正直に話してくれてありがとう。」

まず確認したいんですが、授業を聞いたあとに、自分で復習するときはどんなふうになっていますか？ノートを読み返すとか、教科書を見直すとか、問題を解くとか...今のやり方を教えてもらえますか？」

家に帰ってから、教科書とノートを読み返しています。

(教員)

「家でノートと教科書を読み返しているんですね。それを毎日続けているのは、とてもまじめに努力している証拠だと思います。

ただ、「読むだけ」だと頭に入ったような気がしても、実際に問題を解いたり説明したりすると忘れてしまうことが多いんです。

例えばこんなやり方はどうでしょう：

1. 授業のあとすぐに5分復習

その日のうちに、ノートを見ながら「ポイント」を声に出して説明してみる。

2. 短く繰り返す

一度に長時間やるよりも、毎日10～15分で区切って何度も繰り返す。

3. アウトプット中心

問題集やプリントを解いて、「できないところ＝復習する場所」と考える。

〇〇さんは、読むだけじゃなくて「解く」とか「説明する」勉強も取り入れてみたいと思いますか？」

先生が提案してくれた方法もやってみたいと思いますが、自信がありません。

(教員)

「自信がないって感じるのは自然なことですよ。今まで「読む勉強」が中心だったから、やり方を変えるのは不安になりますよね。でも、それは〇〇さんが「もっと良くになりたい」と思っている証拠でもあります。

まずは完璧にやらなくても大丈夫です。たとえば、授業の復習を5分だけ声に出してまとめるとか、問題を1問だけ解いてみる、そんな小さな一歩で十分です。

できたら私に見せてくれるといいし、相談しながら一緒に改善していきましょう。

〇〇さんは、最初に取り組むとしたら「説明する練習」と「問題を解く練習」、どちらがやりやすそうに感じますか？」

発達障害の傾向がある生徒への対応方法も教えてもらえますか？

もちろんです。発達障害の傾向がある生徒への対応は、基本的には「理解」「環境調整」「学習サポート」の3つの軸で考えると効果的です。

1. 理解

- 生徒が得意・不得意の偏りがあることを前提にする  
例：計算は得意だけど文章問題が苦手、視覚的に理解するのは得意だが聴覚情報が苦手 など
- 特性を否定せず、強みを伸ばしつつ苦手を補助する姿勢を持つ

2. 環境調整

- 学習環境をシンプルにする  
→ 余計な情報や刺激を減らし、集中しやすい机や席の配置を工夫
- 指示は短く・具体的に  
→ 「教科書を開いて～」ではなく「教科書の5ページを開いて、問題1を解いてみよう」のように具体化
- 視覚支援を活用  
→ 図や表、色分け、チェックリストなどで学習手順を可視化

## 面談アドバイザーとしてAIを使用するメリット

声掛けのバリエーションが広がる

学生の特性に合わせた言葉を選べる

即時にフィードバックを得られる

客観的な視点を取り入れられる

感情面の支援を強化できる

学生に寄り添う姿勢を見せやすい

# 研修会風景



賛助会員協賛企画 機械展示

□株式会社 エムイーテクニカ



□株式会社 ニデック



□株式会社 テイエムアイ



□ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社ビジョンケア・カンパニー



□株式会社 トプコンメディカルジャパン



□東海光学株式会社



# OPTEGO®ステックオンプリズム

新素材の膜プリズム

2025/08/21 第18回教員研修会 全国視能訓練士学校協会 様

お問い合わせはこちら

J&J  
Institute

お問い合わせはこちら



## e-ラーニングプログラム

視能訓練士を目指す学生のための  
コンタクトレンズ基礎知識

1. 無料で受講できるオンラインプログラム
2. コンタクトレンズに関する知識を網羅&テストで定着
3. 音声ガイド・アニメーションによる解説

©2024 J&J KK 2024

# 近視管理を

## はじめてみませんか



- 小児の測定に有用にお使いいただけます
- 必要な機能だけで近視管理ができます



2025.08.21

 **TOPCON Healthcare**  
SEEING EYE HEALTH DIFFERENTLY

全国視能訓練士学校協会  
第18回 教員研修会

## 市場トレンド **アップデート**

2025/08/21  
(株) トプコンメディカルジャパン  
営業企画部 大島

## アンケート

### 視能訓練士歴

～5年	4
6～10年	4
11～20年	8
21～30年	10
31年以上	6
その他	1
計	33



### 教員歴

～5年	12
6～10年	8
11～20年	9
21～30年	4
計	33



### 今後の開催形式

Web	1
対面	16
どちらでも	16
計	33

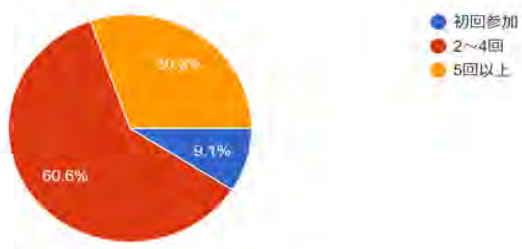
今後の開催形式のご希望  
33件の回答



### 参加回数

初回参加	3
2～4回	20
5回以上	10
計	33

教員研修参加回数  
33件の回答



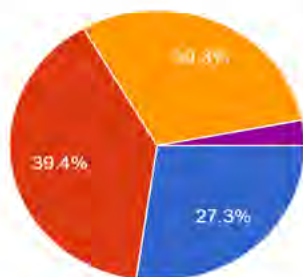
## 教員研修会の開催時期についてのご希望・ご意見があればご記入下さい

18 件の回答

- ・個人的にはこの時期が最適です
- ・同時期が希望です
- ・8月
- ・現状でよい
- ・特に問題ないと思います。
- ・この時期でよいです
- ・適当だと感じた。
- ・今年同様
- ・暑い最中ではございますが、学生の夏休み時期でもあり、この時期が最適かと思っております。
- ・10月頃
- ・丁度良いです。
- ・今の時期で問題ないです
- ・この時期が良いです
- ・これまで同様の開催時期でよい
- ・8月下旬

## 今回の教員研修の参加理由をお聞かせ下さい

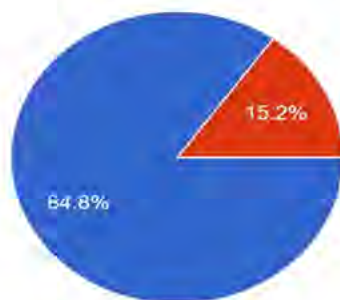
33 件の回答



- 研修テーマに興味があったから
- 昨年度からのステップアップをしたかったから
- 自己研鑽のため
- 専任教員制度に必要なため
- 参加したことがなかったため

## ①教育講演はいかがでしたか

33 件の回答



- 大変満足
- 満足
- 不満
- 大変不満

## ①を選んだ理由をお聞かせ下さい

29 件の回答

- ・ AIに頼るのではなく、あくまでもプロセスとして活用し、質の高い学習を提供できるようになりたいと思うことができたため
- ・ 自分だけでは考えつかない方法をたくさん聞くことができたので。
- ・ 教員としての知識、経験不足で、業務に関して頭を抱えることがあった中、生成AIについて詳しく知る事ができ、それを活用する事で業務がよりスムーズになった為。
- ・ 今後の教育活動を大きく変化させる興味深い内容であった
- ・ 個人ワーク（特にレポート課題）の時間は、もう少し短くても良かったと感じました。
- ・ 教育に役立つ
- ・ 昨年も研修に参加させていただいてAIについてたくさんのお話を学ぶことができたが、時間とともに忘れていたことも多かったので、今回AIについてさらに詳しくアップデートした内容を学ぶことができて身になったから。
- ・ 得るものが沢山ありました。
- ・ 講義とワークがありとても勉強になった。
- ・ 昨年度よりさらにステップアップできたと感じた。
- ・ アップデートもかねて、さらに生成AIについて掘り下げて深く知れたから
- ・ 明日からの業務にすぐに活用できないようであったから
- ・ 昨年度に引き続き参加させて頂きました。生成AIの進化が凄まじく、それに追いつくために使う側のアップデートも必要だと実感しました。ありがとうございました。
- ・ 昨年度の内容に最新の内容を加えていただき、とても興味のわくテーマだったため。
- ・ すぐに実践出来る事とその理念が学べました。今後もそんなテーマを希望します。
- ・ 常に最先端をいく知識豊富な先生からのご講演は初めてでした。大変勉強になりました。具体的な使い方、最適なツールの選び方など、さらに知りたい事が増えました。
- ・ 有難うございました。
- ・ 現在の生成AIの精度の確認、実際の使用経験の話を聞けたため
- ・ これから絶対に必要なスキルを学べた為
- ・ 昨年の研修会から生成AIを使用するようになり、その活用についてより学びを深めることができたから。
- ・ 実践的で大変有意義な時間となりました。
- ・ 講演、実践したことでAIの活用方法のメリット、デメリットの理解ができ、活用してみようと考えました。ただ、これから活用していくので、AIを活用するにあたり、チェックが重要だと感じています。
- ・ 大変参考になりました。ありがとうございます。
- ・ 生成AIについて、自分で一から学ぶには複雑な内容であったため、今回の研修を通して最新の生成AIの活用方法を学ぶことができ、今後に活かせる学びとなりました。
- ・ 昨年からステップアップすることができたから
- ・ 昨年に引き続き生成AIについて知識が深まり、さらにアップデートできた。今後より一層活用していきたい。

- ・生成AIの使い方をしっかりと学べる機会をいただきありがとうございました。
- ・AIについて大変興味深かったため
- ・昨年講演をお聞きしてから自分なりに生成AIを使用できるようになりました。今回さらなる発展をご講演いただき、知識をアップデートできたとともに、これからどう生成AIと向き合うかという心構えを自分の中に構築できたことが大きな学びとなりました。
- ・岡田先生には道標を示していただき感謝申し上げます。2回目の講演を企画していただきありがとうございました。
- ・生成AIは、普段からプライベート、教育現場、研究活動と、様々な場面で活用しているが、さらなる活用方法を知ることができ、本当に参加してよかったと感じる。

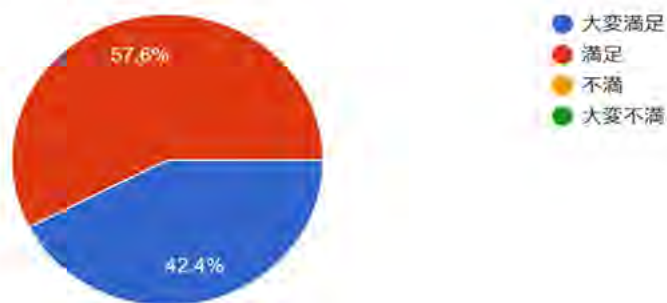
### 今後、教育講演で希望されるテーマがあればご記入下さい

12件の回答

- ・様々な教育手法について学びたいです。
- ・発達特性を持つ学生への対応について
- ・ギガスクール構想が始まり、これからの学習方法や、教育法について
- ・広報募集関係
- ・今回のように生成AIをテーマにした講演だと興味をもてる。
- ・臨床実習の評価
- ・低学力者への国家試験を目指す学生指導方法を学びたいとです。入学時からどのようなカリキュラム、システムを駆使しスケジュール管理を組むか具体的にご指導いただきたいと思います。他校の学びをご教授いただきたいです。
- ・すぐに思いつかない
- ・思考発話をを用いた学生指導
- ・障害学生支援、合理的配慮について
- ・効果的な教育方法など、医療教育学の分野

### ②機器展示はいかがでしたか

33件の回答



## ②を選んだ理由をお聞かせ下さい

23 件の回答

- ・プリズムを見ることができたので。
- ・業務に積極的に活用したいと思った為。
- ・やや時間的にタイトであった
- ・新しい機器や機材をゆっくりと拝見させていただけるため。
- ・最新の機械を見ることができ、説明まで丁寧にしてくれたから
- ・色んな機器を見ることが出来てとても参考になった。
- ・ちょうど知りたい情報が得られたから。
- ・ご丁寧にご説明、ご対応くださり、新しい情報も聞けたため
- ・分かりやすく説明していただけたから
- ・様々な最新機器を見ることが出来て良かったです。
- ・トレンドとなる機器を提示いただき、学生教育の場面でも活用できそうな情報を提供いただけたため。
- ・新しい検査機器を知る事ができた。
- ・新しい機器を知ることができました。
- ・何度も見れる時間が設けられてたため
- ・知見を深める事ができるため
- ・展示の機器に触れながら企業の方とお話することで、新たな知識を身につけることができたから。
- ・最新の機器を学会にいかずとも見せて頂くことができました。
- ・時代のニーズに合わせた器機が展示されていたと思うので。
- ・研究している分野の最新の技術を知ることができ、モチベーションの向上にもつながりました。
- ・最新の情報を短時間で収集することができるため
- ・学会とは違い時間をかけてゆっくりお話を聞くことができた
- ・新しい機器やプログラムをご教授いただきありがとうございます。
- ・新しい機器や新しい情報が得られたため

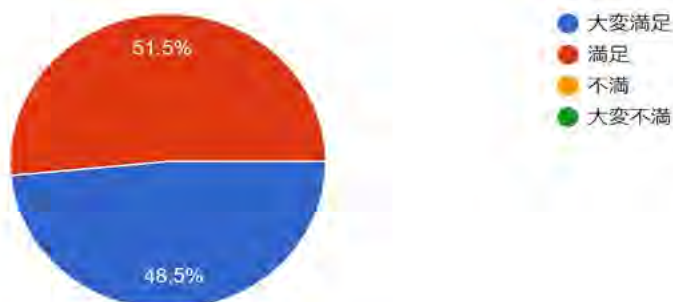
## 機器展示に関するご意見、ご感想をお聞かせ下さい

10 件の回答

- ・もう少しゆっくり見学できたらと思った。
- ・もっと見学の時間がとれればよいと思います。
- ・企業の方が丁寧に説明してくださりとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・満足です。
- ・授業案とセットの機器の提案
- ・産学連携の場が増えると嬉しく思います。学びと企業の繋がりを高めたいと感じました。
- ・受講人数が少ないので質問しやすかったです。
- ・機器のみでなくても情報をいただけたらと嬉しいです

### ③賛助会員セミナーはいかがでしたか

33件の回答



### ③を選んだ理由をお聞かせ下さい

21件の回答

- ・近視管理の必要性の話が良かった。
- ・知識がアップデートされた
- ・以前のセミナーと内容が重複する部分もみられるため。
- ・今後、授業内で学生に教えてあげられる内容だったから
- ・最新の機器のプレゼンを聞くことが出来てとても参考になった。
- ・新しい製品を詳しく案内していただけたらから。
- ・アップデートの情報も兼ねて詳しく聞けたため
- ・次回もまた参加させていただきたいと感じたから
- ・短い時間でしたが、様々な企業のセミナーを聞くことが出来て良かったです。
- ・各メーカーがわかりやすく説明していただき、とても参考になった。
- ・まずまずという感じです。
- ・eラーニングをすぐにでも使用したいと感じました。
- ・自分ではあまり調べない製品の紹介が聞けたため
- ・知見を深める事ができた
- ・今後の教育・研究・臨床に役立つ情報をお聞きすることができたから。
- ・大変勉強になりました。
- ・説明がわかりやすかった。
- ・学術的に話をされるのでわかりやすいです
- ・大変わかりやすかった
- ・機器をどういった意図で作られているかが分かり大変勉強になりました。
- ・詳しく聞けたため

## 印象記

新潟薬科大学附属医療技術専門学校 視能訓練士科

小野由希子

前回の初級編で生成 AI の基本的な活用方法を学んだ際にも驚きがありましたが、今回の応用編では、AI の進化や教育・医療現場での具体的な活用方法について、より実践的に学ぶことができました。

特に、会議の録音から自動で議事録を作成する機能や、国や自治体での導入促進に加え、医療現場でも AI 問診の導入や電子カルテへの音声自動入力など、支援を受けながら活用が進んでいる現状を知り、AI が社会に着実に浸透していることを実感しました。

また、「一問一答の使い方ではなく、試行錯誤の過程を支えるツールとして活用すること」「結果よりもプロセスを重視すること」といった学びも印象に残りました。

私は前回の研修以降、日常的に生成 AI を活用しています。授業外で使用するあいさつ文や事務連絡文の作成、授業資料に添付するイラストの作成、学生対応に迷った際の相談、広報活動に関するアイデア出しなど、さまざまな場面で助けられています。文章作成が苦手な私にとって、AI は業務を効率化し、心理的な負担を軽くしてくれる心強い存在です。（ちなみに、この印象記も AI に手伝ってもらいました。）

最近では、学生の中にも AI を活用する姿が見られるようになりました。「チャットくんに聞いたんだけど、この問題の答えは合ってますか？」と尋ねられることもありますが、視能訓練士の専門分野では誤りも少なくなく、最終的には人間の目で確認する必要があると改めて感じます。

AI はあくまで補助的な存在であり、気軽に相談でき、頼れる“上司のような存在”だと思っています。

今後も生成 AI を正しく理解し活用しながら、業務の効率化と教育の質向上につなげていきたいです。

このような学びの機会をいただき、岡田雅樹先生ならびに運営の皆様に心より感謝申し上げます。

プロンプト「全国視能訓練士学校協会教員研修会の印象記を執筆しています。・・・」

応答「今年度の研修会では、生成 AI の最新動向と教育現場での実践的活用について理解を深めることができた。多様な分野での活用例や、昨年以降の急速なアップデートに触れ、教育における可能性の広がりを実感した。一方で、生成 AI の基本的な仕組みや注意点も整理され、使用にあたっての倫理的配慮やリスク管理の重要性を再認識した。学びを授業改善に生かしていきたい。」  
生成 AI を活用する際は1回のやり取りで終わるのではなく、対話によってより良い応答になるよう改善していくことが大切であるということを学んだ。

プロンプト「視能訓練士養成校においては、生成 AI を活用できていないこと、これから積極的に活用していくべきである、という意見を加えた文章にしてください。」

応答「今回の研修会では、生成 AI の最新動向と教育活用の可能性を学び、多様な分野での実践例に触れた。視能訓練士養成校では、まだ十分に生成 AI を活用できていない現状があり、今後は積極的な導入が求められると感じた。生成 AI の仕組みや注意点を理解しつつ、教育効果を高めるための工夫を進めたいと考える。」

生成 AI を活用する際は情報漏洩や著作権について配慮が必要であり、必ずファクトチェックを行う必要があることを学んだ。また、最終的には、使用する者が一定の知識を持ったうえで、応答をたたき台として自らがチェックや推敲をおこなうことが大切である。

#### 教員研修会印象記 完成版

今回の研修会では、昨年に引き続き、生成 AI の最新動向と教育活用の可能性を学んだ。まず、講義において生成 AI の基礎や教育をはじめとする多様な分野での実践例に触れた。講義いただいた内容を踏まえ、視能訓練士養成校における生成 AI の活用アイデアに関するグループワークを行い、授業・国家試験対策・臨地実習など多様な場面での活用案を共有した。視能訓練士養成校では、まだ十分に生成 AI を活用できていない現状がある。今後のより良い視能訓練士養成教育のために、生成 AI を積極的に活用し教育の質を高める努力が求められる必要があると感じた。生成 AI の仕組みや注意点を理解しつつ、教育効果を高めるための工夫をおこなっていきたい。

また、研修会は、他の養成校の教員と交流を深める大切な機会でもあるように思う。視能訓練士養成教育の質をより一層高めるためには、各校独自の努力はもちろん必要だが、養成校同士の交流も大切であると考え。各養成校の教員に、教員研修会への積極的な参加をお勧めしたい。

講師を務めていただきました岡田雅樹先生、また今回の研修会を企画・運営いただいたワーキンググループの方々に感謝申し上げます。

## 会長総評

新井田 孝裕  
(国際医療福祉大学)



教員の資質向上および教育指導内容の充実を目的として、平成20年度より開始された本教員研修会は、今回で第18回を迎えることができました。コロナ禍においては3年間にわたりオンライン開催を余儀なくされましたが、一昨年より従来の対面形式に戻し、継続して実施しております。皆様の温かいご支援とご協力により、今回も全国の養成校から35名もの先生方にご参加いただき、盛会のうちに無事終了することができました。

本研修会は、例年、学生募集をはじめとする各種学校行事が集中する8月下旬の開催となっております。そのような中であっても、教員派遣に快くご対応いただきました養成校関係各位に、改めて心より御礼申し上げます。

今回の研修では、名古屋芸術大学教育学部子ども学科教授の岡田雅樹先生に、「生成AIの教育的活用アップデート2025」をテーマとして、昨年に引き続きご講演をお願いしました。前回は、パソコンを用いた演習に加え、「生成AIの教育場面での活用」をテーマとしたグループ検討および発表を通して、生成AIの活用方法を体系的に学ぶ機会を得ました。

今回は、副題である「教育に活かす最新動向と実践への展開」に基づき、ChatGPT5やGemini 2.5による画像生成を含む最新版の活用事例に加え、強力なリサーチアシスタントツールであるNotebookLMについてもご紹介いただきました。NotebookLMは、ユーザーがアップロードしたPDF、ウェブページ、YouTube動画、音声ファイル等のみを情報源として、情報の分析・要約・質問応答など多様な処理を行うことができ、学習や研究の効率化に大きく寄与するツールであり、参加者にとって早速活用してみたいと感じられる内容でした。その後のグループワークでは、昨年同様、「学生が活用する場合」と「教員が活用する場合」に分けて、生成AIの教育への活用について検討が行われました。昨年度の研修会に参加された先生方も多く、意見の集約やスライド作成は円滑に進められていました。発表では、履歴書等の文章添削にとどまらず、動画を用いた検査説明や手技の確認、模擬患者や実習指導者を想定した対話型ロールプレイ、面接練習への活用など、多様なアイデアが示されました。中には、視能「楽」教材として国家試験対策用の音楽教材を作成したグループもあり、文章のみならず音声や動画といったコンテンツにおいても、AIが有効に活用できることを改めて認識する機会となりました。

私たち教員には、AIの支援を適切に活用することで教育効果を高め、学びの質を一層向上させることが求められています。その一方で、生成AIの急速な進歩に伴い、思考力・判断力の低下への懸念をはじめ、著作権侵害や情報漏洩のリスク、さらには倫理的課題など、教育現場におけるさまざまなデメリットも指摘されています。欧米では一部においてAI規制法の導入が進められていますが、学生に対し

てレポート課題等での生成 AI の使用を全面的に制限することは、現実的ではありません。むしろ、グループワークでも示されたように、対話型ロールプレイを活用した実技演習や検査説明、医療・模擬面接等の練習、ポートフォリオによる評価などにおいては、生成 AI による悪影響は比較的限定的であり、これらの教育手法を積極的に取り入れていくことが有効であると考えられます。したがって、私たち教員は従来の評価方法を改めて見直すとともに、生成 AI の使用に関する留意点を学生と事前に共有し、不適切な利用を未然に防ぐ姿勢が重要です。将来、生成 AI がどこまで進化し、どのような教育環境が形成されていくのかを正確に見通すことは容易ではありませんが、その動向を継続的に注視し、柔軟に対応していく必要性を強く認識しました。

今回の研修会は、一昨年が東京、昨年が名古屋での開催であったことから、大阪での開催といたしました。研修会会場を快くご提供いただいた大阪人間科学大学の宮本安住己先生ならびに学校関係者各位に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。恒例となっています研修会初日の懇親会は、西中島駅近くの「高崎流居酒屋 クリエイティブキッチン道場 西中島店」にて開催され、昨年に引き続き岡田先生にもご参加いただき、参加者同士の親睦を深める有意義な時間となりました。アットホームな雰囲気の中で、参加養成校の紹介や活発な情報交換が行われました。

さて、賛助会員の企業の皆様には、日頃より多大なるご支援を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今回は、申し込み順に、株式会社ティエムアイ、J&J 株式会社ビジョンカンパニー、株式会社ニデック、東海光学株式会社、株式会社エムイーテクニカ、株式会社トプコンメディカルジャパンの 6 社にご出展いただきました。さらに、株式会社ティエムアイ、J&J 株式会社ビジョンカンパニー、株式会社ニデック、株式会社トプコンメディカルジャパンの 4 社には、ランチョンセミナーも開催していただきました。展示およびセミナーを通じて有益な最新情報をご提供いただき、参加者一同、大いに知識を深めることができました。ご多忙の中、ご出展いただいた各社の担当者ならびに関係各位に、心より深謝申し上げます。今後とも変わらぬご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、準備期間が限られた中、企画から設営、報告書の取りまとめに至るまでご尽力いただいた大阪人間科学大学の横田敏子先生をはじめ、教員研修ワーキンググループの先生方に改めて深く感謝申し上げます。次年度も、実り多く有意義な教員研修会が開催されることを、今から心待ちにしております。

参加者一覧

	養成校施設名	氏名
1	吉田学園医療歯科専門学校	佐藤 幸恵
2	札幌看護医療専門学校	間野 和幸
3	東北文化学園専門学校	二本柳 淳子
4	東北文化学園大学	石川 奈津美
5	仙台医健・スポーツ専門学校	遠藤 舞
6	国際医療福祉大学	新井田 孝裕
7	国際医療福祉大学	内川 義和
8	国際医療福祉大学	鈴木 賢治
9	国際医療福祉大学	漆原 美希
10	国際医療福祉大学	今中 楓菜
11	国際医療福祉大学	高德 由依
12	国際医療福祉大学	熊谷 嘉人
13	専門学校日本医科学大学校	赤石 真紀
14	日本医歯薬専門学校	芝田 理恵
15	東京医薬看護専門学校	小川 久実
16	新潟薬科大学附属医療技術専門学校	小野 由希子
17	新潟薬科大学附属医療技術専門学校	入澤 真美
18	静岡福祉医療専門学校	鈴木 ほまれ
19	静岡福祉医療専門学校	太田 陸
20	名古屋医専	加藤 権治
21	愛知淑徳大学	田邊 宗子
22	愛知淑徳大学	望月 浩志
23	京都医健専門学校	川上 真吾
24	大阪医療福祉専門学校	齋藤 真之介
25	大阪医療福祉専門学校	森 優佑
26	大阪人間科学大学	宮本 安住己
27	大阪人間科学大学	横田 敏子
28	大阪人間科学大学	中山 奈々美
29	大阪人間科学大学	松岡 恵美子
30	大阪人間科学大学	柘田 浩三
31	神戸総合医療専門学校	山本 雅美
32	神戸総合医療専門学校	荒木 渚
33	川崎医療福祉大学	藤原 篤之
34	福岡国際医療福祉大学	松藤 佳名子
35	福岡国際医療福祉大学	佐々木 信

## 全国視能訓練士学校協会 加盟校一覧

施設名	学科名	所在地
吉田学園医療歯科専門学校	視能訓練士学科	北海道札幌市
札幌看護医療専門学校	視能訓練士学科	北海道札幌市
東北文化学園専門学校	視能訓練士科	宮城県仙台市
東北文化学園大学	医療福祉学部 リハビリテーション学科 視覚機能学専攻	宮城県仙台市
仙台医健・スポーツ専門学校	視能訓練科	宮城県仙台市
国際医療福祉大学	保健医療学部 視機能療法学科	栃木県大田原市
専門学校日本医科学大学校	視能訓練士科	埼玉県越谷市
帝京大学	医療技術学部 視能矯正学科	東京都板橋区
東京医薬看護専門学校	視能訓練士科	東京都江戸川区
日本医歯薬専門学校	視能訓練士学科	東京都杉並区
北里大学	医療衛生学部 リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻	神奈川県相模原市
新潟薬科大学附属医療技術専門学校	視能訓練士科	新潟県新潟市
新潟医療福祉大学	医療技術学部 視機能科学科	新潟県新潟市
静岡福祉医療専門学校	視能訓練士学科	静岡県静岡市
平成医療短期大学	リハビリテーション学科 視機能療法専攻	岐阜県岐阜市
愛知淑徳大学	健康医療科学部 医療貢献学科 視覚科学専攻	愛知県長久手市
名古屋医専	視能訓練学科	愛知県名古屋市
京都医健専門学校	視能訓練科	京都府京都市
大阪人間科学大学	医療福祉学科 視能訓練専攻	大阪府摂津市
大阪医専	視能訓練学科	大阪府大阪市
大阪医療福祉専門学校	視能訓練士学科	大阪府大阪市
神戸総合医療専門学校	視能訓練士科	兵庫県神戸市
川崎医療福祉大学	リハビリテーション学部 視能療法学科	岡山県倉敷市
福岡国際医療福祉大学	医療学部 視能訓練学科	福岡県福岡市
大分平松総合医療専門学校	視能訓練学科	大分県大分市
西日本教育医療専門学校	視能訓練士学科	熊本県熊本市

## 賛助会員一覧

### 特別賛助会員

法人名	住 所	
公益社団法人日本眼科医会 <a href="https://www.gankaikai.or.jp/">https://www.gankaikai.or.jp/</a>	〒108-0075	東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー8階
公益社団法人日本視能訓練士協会 <a href="https://www.jaco.or.jp/">https://www.jaco.or.jp/</a>	〒101-0044	東京都千代田区鍛冶町1丁目8-5

### 法人会員 ※五十音順

会社名	住 所	
株式会社エムイーテクニカ <a href="https://www.metecnica.co.jp/">https://www.metecnica.co.jp/</a>	〒170-0002	東京都豊島区巢鴨 1 - 34 - 4
株式会社オフテクス <a href="https://ophtecs.co.jp/">https://ophtecs.co.jp/</a>	〒650-0047	兵庫県神戸市中央区港島南町5丁目2番4
クーパービジョン・ジャパン株式会社 <a href="https://coopervision.jp/">https://coopervision.jp/</a>	〒106-0032	東京都港区六本木1丁目4番5号 アークヒルズサウスタワー12F
株式会社システムギアビジョン (旧：株式会社タイムズコーポレーション) <a href="https://www.sgv.co.jp/">https://www.sgv.co.jp/</a>	〒665-0051	兵庫県宝塚市高司1-6-11
ジャパンフォーカス株式会社 <a href="https://www.japanfocus.co.jp/">https://www.japanfocus.co.jp/</a>	〒113-0033	東京都文京区本郷4-37-18 IROHA-JFCビル5階
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケア・カンパニー <a href="https://www.jni.co.jp/">https://www.jni.co.jp/</a>	〒101-0065	東京都千代田区西神田3丁目5番2号
株式会社ティエムアイ <a href="https://www.tmi-st.com/">https://www.tmi-st.com/</a>	〒352-0006	埼玉県新座市新座1丁目2番地10号
東海光学株式会社 <a href="https://www.tokaiopt.co.jp/">https://www.tokaiopt.co.jp/</a>	〒444-2192	愛知県岡崎市恵田町下田5-26
株式会社トプコンメディカルジャパン <a href="https://topconhealthcare.co.jp/">https://topconhealthcare.co.jp/</a>	〒174-8580	東京都板橋区蓮沼町75-1
株式会社ニデック <a href="https://www.nidek.co.jp/">https://www.nidek.co.jp/</a>	〒443-0038	愛知県蒲郡市拾石町前浜34-14
日本アルコン株式会社 (ビジョンケア事業本部) <a href="https://www.alcon.co.jp/">https://www.alcon.co.jp/</a>	〒105-6333	東京都港区虎ノ門 1 - 23 - 1 虎ノ門ヒルズ森タワー
HOYA株式会社ビジョンカンパニー <a href="https://www.vc.hoya.co.jp/">https://www.vc.hoya.co.jp/</a>	〒164-8545	東京都中野区中野 4 - 10 - 2 中野セントラルパークサウス 6F
株式会社メニコン <a href="https://www.menicon.co.jp/company/">https://www.menicon.co.jp/company/</a>	〒460-0006	愛知県名古屋市中区葵 3 丁目21番19号

## 編集後記

例年になく8月の激暑の中、研修会にご参加いただきありがとうございました。  
大阪で開催しました今年の研修のテーマは、昨年につき「生成 AI の活用」で、昨年の内容を踏まえて今年にはさらに応用的な活用方法を取り上げていただきました。参加された先生方から「実践的で参考になった」「すぐに試してみたい」といった声が聞かれたら幸いです。もしかしたら、研修後、既に実践されている先生もおられるかもしれません。この2日間は AI の可能性を改めて感じる時間となりました。これからは教育や臨床の現場で、AI をどう活かしていけるのか、一緒に考えていければと思います。次回もまた新しい学びや発見を共有できる場となるよう、日々色々な事に眼を向け耳を立て過ごしていきたいと思います。  
今回の研修会が、少しでも皆さんの今後の実務に役立つヒントになれば嬉しいです。

### 2025 年度教員研修ワーキンググループ

赤石 真紀 (専門学校日本医科学大学校)  
太田 陸 (静岡福祉医療専門学校)  
小川 久実 (東京医薬看護専門学校)  
川上 真吾 (京都医健専門学校)  
鈴木 ほまれ (静岡福祉医療専門学校)  
横田 敏子 (大阪人間科学大学)

全国視能訓練士学校協会 2025 年度 第 18 回教員研修報告書

2026 年 3 月発行

発行：全国視能訓練士学校協会

事務局：平成医療短期大学リハビリテーション学科視機能療法専攻  
〒501-1131 岐阜県岐阜市黒野 180 番地

(許可なく複写転載を禁ず)